

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09000101

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 平成22年度～平成25年度 事業費(受益者負担分) 368,743千円 ・草地整備 1,046.8ha、草地造成 5.0ha ・家畜保護施設(畜舎) 1棟 平成29年度～平成32年度 事業費(受益者負担分) 516,990千円 ・草地整備 539.0ha、草地造成 6.2ha、暗渠排水15.8ha ・家畜保護施設(家畜避難舎) 2棟
基本施策	1 農業の振興	事業優先度	A	
単位施策	5 農業による地域の活性化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	畜産担い手育成総合整備事業(再編整備型事業)	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	北海道農業公社	関係課	#N/A	
事業指標	草地整備・暗渠排水・施設整備	関係課	#N/A	
事業目標	草地整備 496.0ha、草地造成 0.9ha、暗渠排水12.8ha	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	無	関係例規・法令名	無	
住民協働		関係個別計画名	無	

全体計画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
計 画 内 容	平成21年度で資源リサイクル畜産環境整備事業が完了したことから、引き続き草地整備及び施設整備を図る必要性があり、本事業により担い手の育成を通じて土地利用集積の推進による規模拡大や飼料生産基盤の促進による酪農振興と地域経済の活性化を図るものである。 ※単位施策～「土地基盤の充実」にも該当	草地整備 270ha 全体事業費 139,326 千円 国費 66,000 千円 受益者 53,526 千円 道費 19,798 千円 一財 2 千円	草地整備 65.8ha(25繰越分) 全体事業費 24,994 千円 国費 11,789 千円 受益者 9,668 千円 道費 3,536 千円 一財 1 千円			草地整備 160.2ha 草地造成 0.9ha 暗渠排水 12.8ha 施設整備(設計) 1棟 全体事業費 154,980千円 国費 71,750千円 道費 19,800千円 受益者 56,830千円 一財 6,600千円
	事業費(千円)	169,761	73,326	13,205	0	83,230
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	43,134	19,798	3,536		19,800
	地方債	0				
	その他	120,024	53,526	9,668		56,830
実績事業費	事業費(千円)	153,322	60,274	12,903	0	80,145
実 績 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	39,438	16,405	3,509		19,524
	地方債	0				
	その他	107,374	43,867	9,394		54,113
	一般財源	6,510	2			6,508
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	○畜産担い手育成総合整備事業建設施設売払収入 ○畜産担い手育成総合整備事業受託収入	【評価・実績】	草地整備 160ha ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	草地整備 65.8ha ※事務事業評価結果 A-終了	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前記計画からの継続(継続有り)	年度目標値	草地整備 270ha	草地整備 65.8ha		整備160.2ha・造成0.9ha・排水12.8ha
		年度達成率	82%	98%	#DIV/0!	96%
	第6期計画への継続(継続有り)	全体達成率	36%	43%	43%	90%
	備考欄					

事業名	畜産担い手育成総合整備事業(再編整備型事業)	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	農務係長	小野 隆行

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	畜産農家	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	草地整備、施設整備								
【抱える課題やニーズは】	家畜飼料など農業資材の価格高騰による経営コストの増加 農業者の高齢化や担い手不足による生産基盤の衰退	指標(指標計算式/解説)	指標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	自給飼料生産の向上や利用拡大	① 草地整備 (整備、造成、暗渠排水)	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>173.9 ha</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>174.3 ha</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.2 %</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	173.9 ha	実績値	174.3 ha	達成度	100.2 %
目標年度	平成29年度										
目標値	173.9 ha										
実績値	174.3 ha										
達成度	100.2 %										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	自給飼料基盤に立脚した酪農、畜産経営の確立	② 施設整備(設計)	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>1棟</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>1棟</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0 %</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	1棟	実績値	1棟	達成度	100.0 %
目標年度	平成29年度										
目標値	1棟										
実績値	1棟										
達成度	100.0 %										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	草地整備等及び施設整備の実施	事業実施計画(平成29年度～平成32年度)により、草地整備等(整備、造成、暗渠排水)及び施設整備(設計)を実施した。									
	草地整備等に対する補助金の交付	草地整備等(整備、造成、暗渠排水)に対し補助金を交付した。(道15%、町5%)									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	経営規模の拡大や飼料生産基盤の維持、向上による安定した農業経営確立のための支援は、本町の酪農振興のために必要である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	草地整備等の実施により、今後、自給飼料生産の向上が図られる。施設整備については設計が完了し、平成30年に畜舎1棟の新設が計画されており、経営規模の拡大が図られる。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	事業の活用により農業者の経費負担が軽減され、計画地域内において、草地整備が促進された。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	国の制度に基づいた事業であり、参加する農業者の受益者負担もあるので、公平であると判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画どおり各種整備が完了し、今後、自給飼料生産の向上及び利用拡大が図られる。また、施設整備については、次年度の建設に向けて設計を行った。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
自給飼料生産の向上や利用拡大のための事業であり、整備計画に基づき、各種整備を実施していく必要がある。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止